

障害者雇用優良事業所

株式会社 白川運輸

- 業種／貨物運輸業
- 常用労働者数／84人(男性72人、女性12人)
- 所在地／久留米市荒木町藤田1423-45

取り組み内容

- 障害のある人を4人雇用し、障害者の法定雇用率を2年連続で上回っている。障害者雇用率8.06%(令和5年6月1日現在)
- 業務連絡や指示の際も工夫し、社員のほか、取引先にも配慮を依頼するなど、安心して働ける環境づくりを行っている。

障害がある人もない人も分け隔てなく それぞれの能力を生かした職場づくり

冷凍食品・雑貨の運送を行う株式会社 白川運輸では、現在4人の障害のある方を雇用しています。

「障害がある人もない人も分け隔てなく、全職員が意見や話をしやすい環境を目指しています。点呼には極力出席するようにし、『お疲れ様!』、『気を付けて!』など従業員とのコミュニケーションは欠かさないようにしています。現場では、障害の特性や接し方の注意事項を共有し他の職員に見守ってもらっています。人と人との関わりを大切に、社員一人一人の気持ちに寄り添っていきたいです」と話す白川社長。「不易流行」をモットーとして、ドライバーファーストを大事にしつつ、多様な人材に合わせた職場づくりを取り入れています。



代表取締役社長

しらかわ しゅう

白川 修 さん



▲長距離運転手用の仮眠室



▲敷地内に駐車されているトラック

事務職の白川さんは「障害の有無は全く気にせず、他のドライバーと同じように接しています。知的障害のある方には、本人が納得するまで繰り返し説明したり、話をしたりします。何度も話すときちんと伝わるので、障害の有無での違いをあまり感じません。本人たちは生き生きと、そして笑顔でやりがいを持って働いてくれます」と話します。

それぞれの能力、経験に応じて適した仕事を見いだすよう心掛けている白川運輸。定期路線を担当している聴覚障害2級のドライバーには、業務連絡や細かい指示の際にスマートフォンやLINEを活用した筆談を行っています。また、通院の際は事前申請してもらい安心して休めるように配慮しています。シフトや業務内容に関しても、障害のある方だけでなく、子育て中の女性ドライバーなど、さまざまな境遇の方が働きやすい環境づくりを行っています。



▲株式会社 白川運輸